

桐生市学校規模等適正化

川内中学校区検討委員会だより

第7号

令和8年1月23日(金)に第2回相生・川内地域協議会を開催し、それぞれの検討委員会の代表者から、各中学校区の方向性について報告があり、その後、意見交換を行いました。

協議の結果、相生・川内地域協議会から、教育委員会に対して、学校適正配置の方向性を報告いただきました。今後、教育委員会は、報告いただいた学校適正配置の方向性を基に、関係部局と調整し、実施計画(案)を作成する予定です。

なお、実施計画(案)を作成する際には、各学校の緊急度を考慮し、市全体のスケジュールを検討することになります。このため、会議資料でお示した各ケースについて、統合時期が後ろ倒しになるなど、変更されることもありますことをご理解くださいますよう、お願いいたします。

また、実施計画(案)を作成後、説明会を開催する予定です。

地域協議会

相生中学校区 検討委員会 代表者3名	川内中学校区 検討委員会 代表者3名
--------------------------	--------------------------

第2回 相生・川内地域協議会の協議結果

<相生・川内地域協議会から報告いただいた学校適正配置の方向性>

【小学校】 ケース 1 または ケース 3

※ 川内中学校区検討委員会から、「川内小と統合校の統合については、児童数の動向を見て、考えたい。」という意見があった。

ケース 1

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)	R19 (2037)	R20 (2038)
学校名														
相生小							▶ 統合【場所】相生小							
川内小														
天沼小														

ケース 3

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)	R19 (2037)	R20 (2038)
学校名														
川内小							▶ 統合【場所】相生小							
相生小														
天沼小														

<主な意見>

川内中学校区の皆さんが、川内の教育環境を大切にしていることを十分理解した上で協議した。現状では、小学校は何とかそのままでもいいところもあるだろうが、今後5年先を見た段階で、果たしてそのままが良いのかという素直な意見として、この際、小学校は、まとまった方が良いのではないかという意見が多かった。

統合によって、川内地区の子供が、相生小や天沼小の子供と関わることで、川内の良さをもっと広がるのではないかという意見があった。仮に統合となった場合には、川内も含めた学校区になるので、川内地区の環境を生かした教育は、そのまま継続できるのではないかという意見もあった。

川内小の保護者へのアンケートの結果、56.9%がケース3の現状維持を選んだ。ただ、25%がケース1を選んでおり、アンケートの意見を拝見すると、感情的には学校を残したいが、子供たちの教育にとって何が良いのか非常に迷っていると感じた。

学校評価やアンケート結果では、「保護者や地域から理解を得られない状況なので、ケース3で様子を見ながら、本当に子供の数が減ってしまったら、そこで考えれば良いと思う。」「今の段階で結論を出す、様々なひずみが出るように思う。」「子供が増えていくことを見込まれる中では、現状維持は期待を持てるが、子供が少なくなる中で、果たして教育環境が十分に整うのか非常に心配である。」という意見があった。

最初は、既に結論ありきという印象であったが、小学校については、川内小を残すケース3を新たに出すことができた。人口減少や様々な問題があり、小学校のアンケート結果と同様の意見です。

## 【中学校】 ケース 2

ケース 2 令和 13年度に相生中・川内中の 2 校が統合

年度 学校名	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)	R19 (2037)	R20 (2038)
相生中														
川内中							▶ 統合【場所】相生中							

### <主な意見>

中学校は、既に部活を合同で行っているところも多い状況で、これ以上生徒数が減少すると、人間関係づくりなど、成長する上で上手くいかない面が出るのではないかと思います。

中学校は、小学校と違い、年齢的にも色々な形で社会と交わり、子供が大きく成長していく時期であることを考えた場合、ある程度の大きな学校規模が必要ではないかと思う。

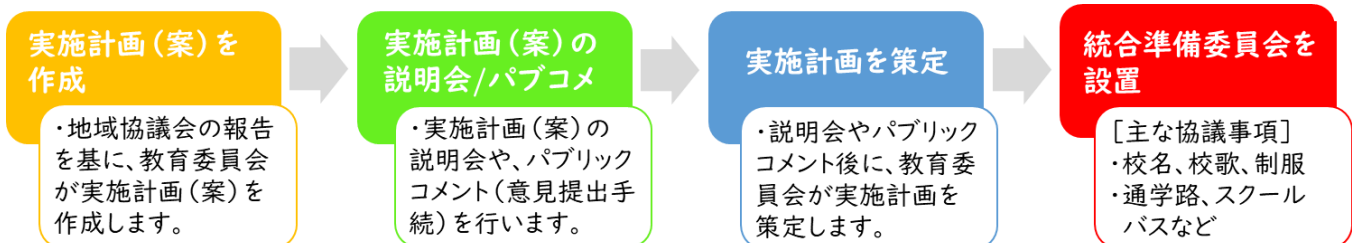
ケース2は、子供や保護者が、焦らずに統合できると思う。通学路や通学手段について、案を出してもらえれば、保護者も安心できると思う。

中学校の統合はやむを得ないと思う。現段階では、小学校は統合しない方向なので、中学校に進学したときのことを考え、授業の一環として、相生小と川内小の定期的な交流を行う機会を作っていただきたい。

### ■参考 [児童生徒数・学級数の見込み(令和 7 年 5 月 1 日時点の児童数を基に作成した推計)]

年齢 (令和 8 年度)	合計 人口	相生小	川内小	天沼小	小学 1 年生 進学年度	備考
0歳	62	20	13	29	令和 14 年度	
1歳	53	16	12	25	令和 13 年度	
2歳	72	19	15	38	令和 12 年度	
3歳	88	22	18	48	令和 11 年度	
4歳	92	39	24	29	令和 10 年度	
5歳	102	38	21	43	令和 9 年度	
6歳	136	40	43	53	令和 8 年度	令和 8 年度に小学 1 年生
7歳	126	38	34	54	令和 7 年度	
8歳	109	36	27	46	令和 6 年度	
9歳	126	38	39	49	令和 5 年度	
10歳	135	39	43	53	令和 4 年度	
11歳	128	40	40	48	令和 3 年度	
12歳	134	41	50	43	令和 2 年度	令和 8 年度に中学 1 年生
13歳	141	50	41	50	令和 元年度	
14歳	172	66	55	51	平成 30 年度	
計	1,676	542	475	659		

### ■今後の予定



実施計画(案)の作成に当たっては、地域協議会の報告内容のほか、各学校の緊急度や改修工事の規模などを考慮し、関係部局と調整しながら、市全体の統合スケジュールを検討することになります。このため、会議資料でお示しした各ケースについて、統合時期が後ろ倒しになるなど、内容が変更されることもありますことをご理解くださいますよう、お願いいたします。

### ●お問い合わせ●

桐生市教育委員会事務局 教育環境課 教育未来係  
 住 所 桐生市小曾根町3番30号(桐生市教育センター)  
 電 話 0277-46-6427(直通)  
 ファクシミリ 0277-46-1109  
 e-mail kyoikukankyo@city.kiryu.lg.jp  
<https://www.city.kiryu.lg.jp/kosodate/gakko/1022484/index.html>



◀詳しくは  
 2次元コードより  
 市ホームページを  
 ご確認ください。